

設楽の城砦めぐり

じょうさうめぐり

―菅沼館編―

すがぬまやかた



菅沼館跡
(現田峰観音)全景

田峰観音谷高山高勝寺境内は、菅沼氏館跡で知られている。谷高山は館が転訛したと言われ、本堂裏は虎口の構造が残り、約二メートルの高台に大正十五年まで田峯小学校の校舎が建っていた。

現在、整地され高台は取り除かれ遺構は消滅したが、西から東に突出した尾根に、南北は急斜面の地形を利用した砦の構えである。

嘉吉年中（一四四一〜）、作手村菅沼（新城市）より、田峯に移住した菅沼伊賀守定成がここに館を築いたと言われ、文明二年（一四七〇）、嫡子定信が田峯城を築城するまで、三十年ほど館が存在したと言われる。

築城後館跡に観音堂を建立、京都より十一面観音を勧請し田峯城の守護とした。

文明十三年、定成の七回忌に定信が寄進した梵鐘が本堂左横に現存している。

（愛知県文化財保護指導委員

加藤 博俊）